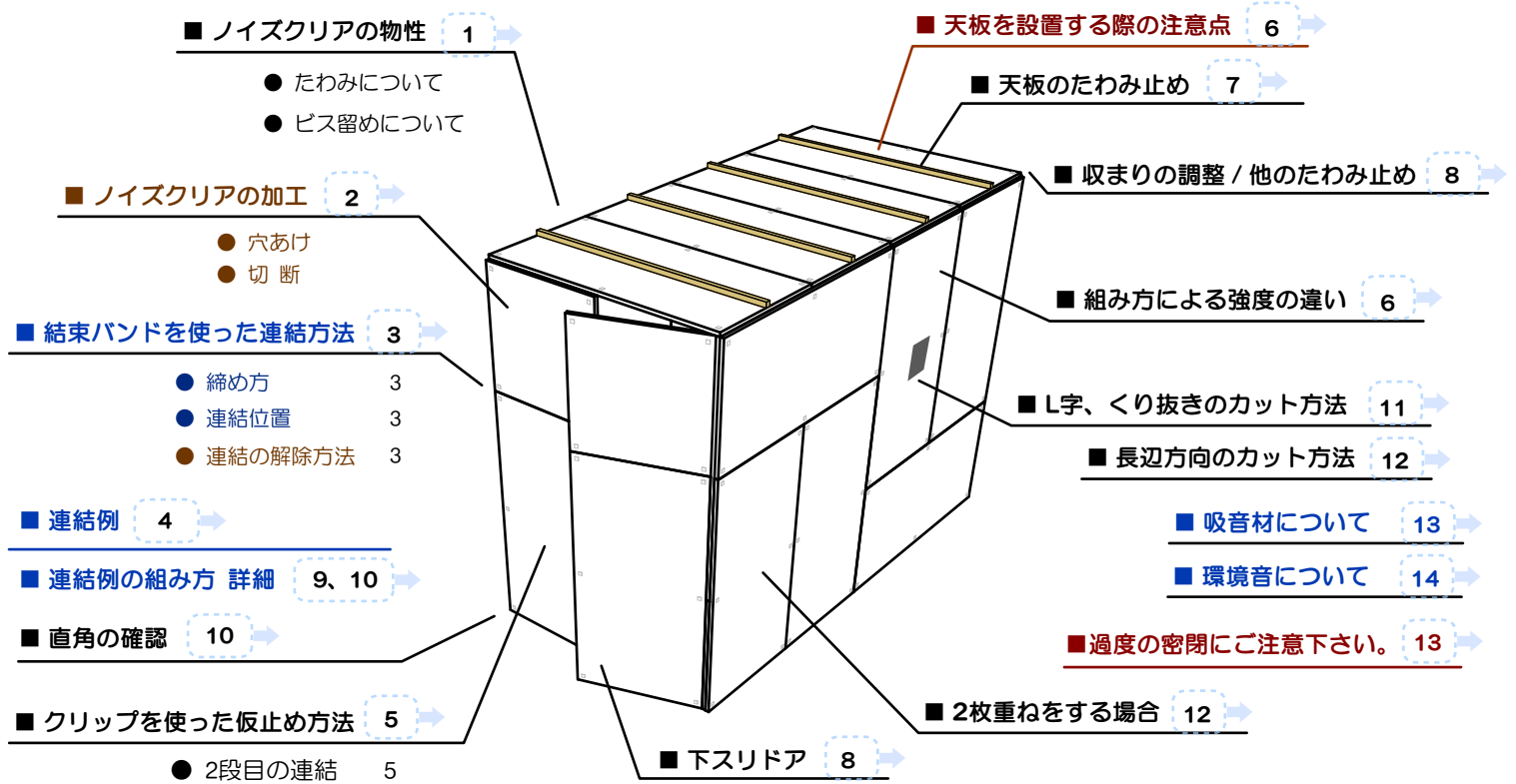
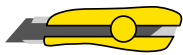


ページタイトルをクリックするとリンクページに飛びます。

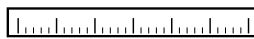


ご用意頂くもの

大きめの
カッター



定規(50cm)

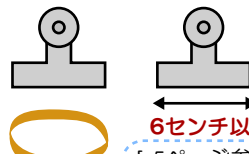


※ほとんど100円ショップで入手できます。

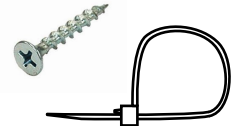
アイスピック



クリップ(大) 2個と
ゴムバンド(太)



結束バンド、又は、
ビス

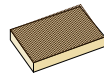


※天板を設ける場合は、角棒と木工用ボンドが必要です。 [7ページ参照]

付属品



フェルトテープ



メッシュやすり

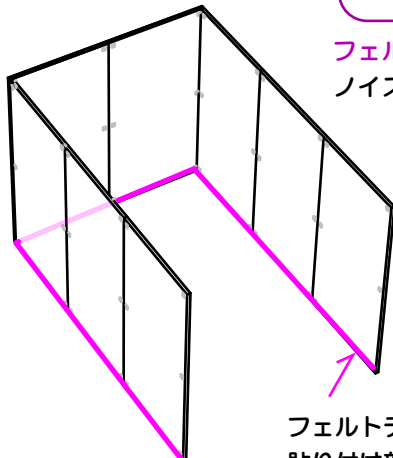
使い方は、2ページを参照

養生シート

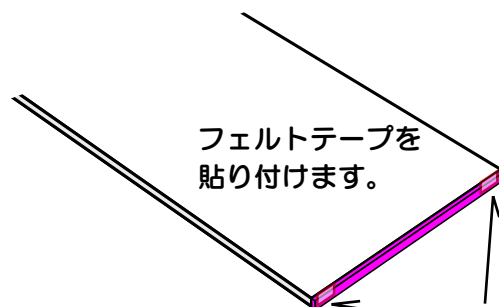
ノイズクリアを加工する際、
床に敷いて下さい。

● フェルトテープについて

フェルトテープは、床からの振動伝達を低減すると共に
ノイズクリアが床面を傷付ける事を防ぎます。



フェルトテープ
貼り付け部分

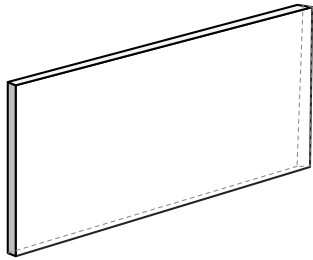


フェルトテープを
貼り付けます。

両面テープが
2ヶ所付いています。

次項

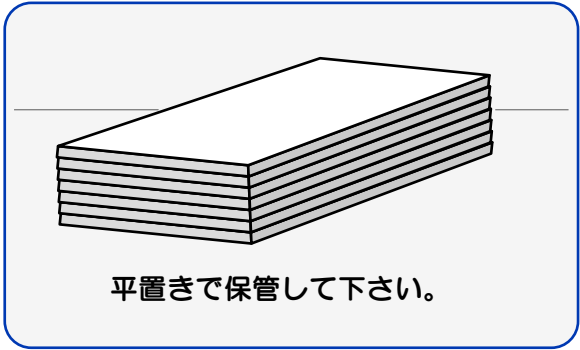
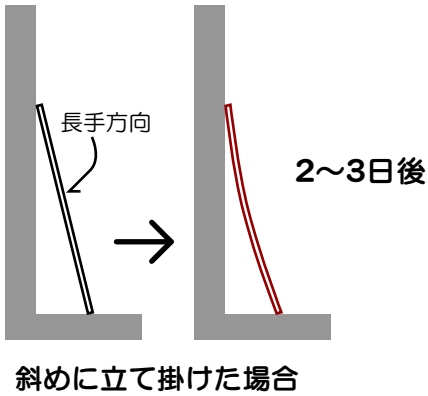
ノイズクリアの物性



ノイズクリアは、加工が簡単な防音材ですが、性質を良く理解して頂ければ、より効率的に加工・組立てする事ができます。

■ たわみについて

基材が石膏ボードのため、保管状態によりたわみが発生します。

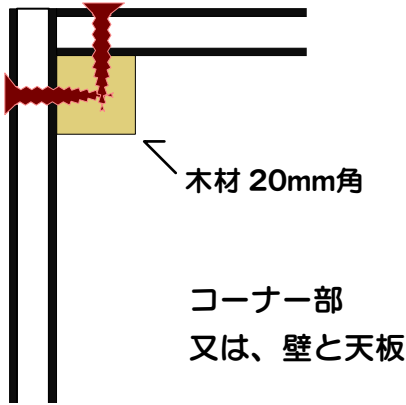
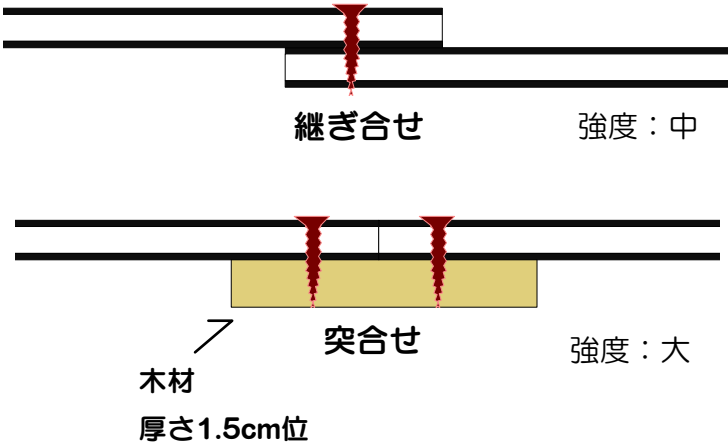


■ ビス留めについて

ビスの種類によっては、しっかりと接合させる事が出来ます。

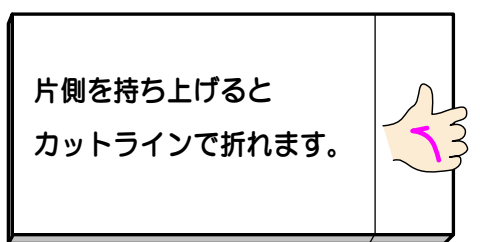
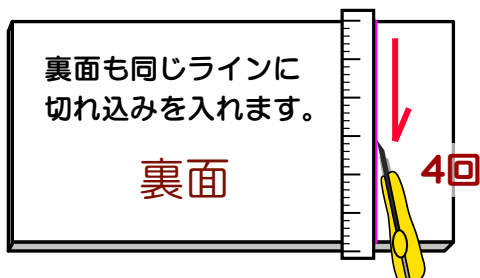
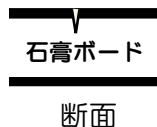
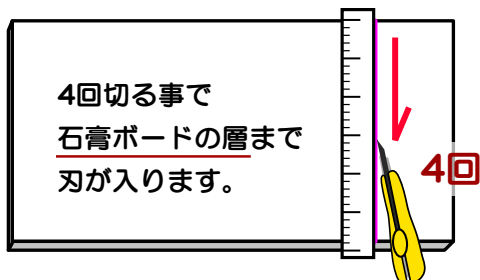
※ただし、木材同士ほどの強度はありません。

- 推奨ビス： コーススレッド(粗目造作ネジ)
軸径3.8mm 長さ28mm

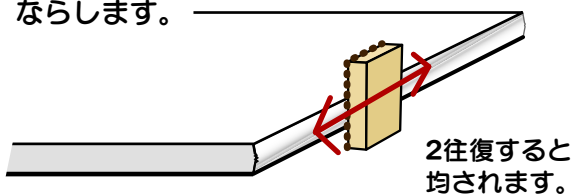


● カット方法

カットラインを
カッターで4回切ります。



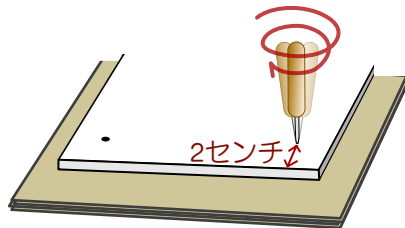
切断面をメッシュやすりで
ならします。



石膏粉が落ちますので養生シートの上で
行って下さい。

● 穴あけ方法(連結用)

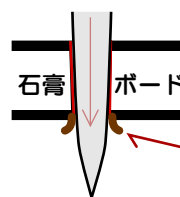
軸の太いアイスピックを使い、
押し廻しながら穴を開けます。



ポイント

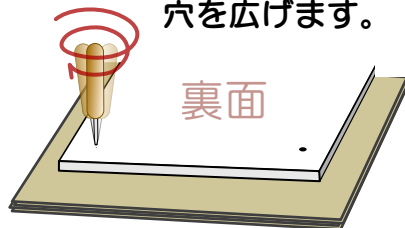


針先が貫通したら
そこで止め、
裏から刺します。

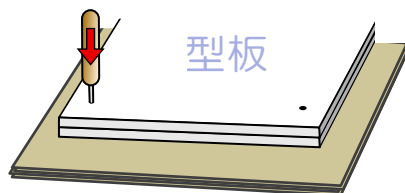


片面から全部
貫通させると
バリが出ます。

裏返して刺し込み、
穴を広げます。



1枚目を型板にして、
2枚目以降にマーキングします。



穴の位置がずれません。



● 結束バンドを使ったノイズクリアの連結方法

結束バンド/リリースタイ(解除可能タイプ)



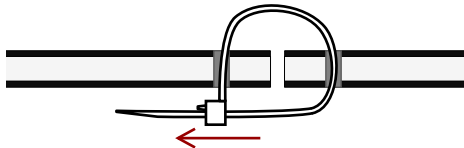
弊社推奨品：
バンドウイット
PRT2SC

リリースタイ [取り外し可能]
ナイロン結束バンド 一袋100本入

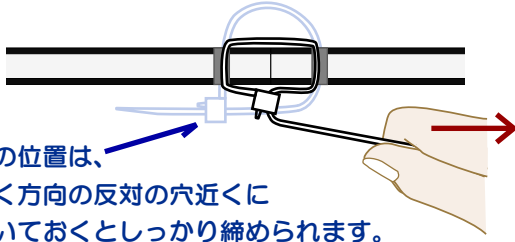
※ ヨドバシドットコム、
amazon で入手できます。

■ 結束バンドの締め方

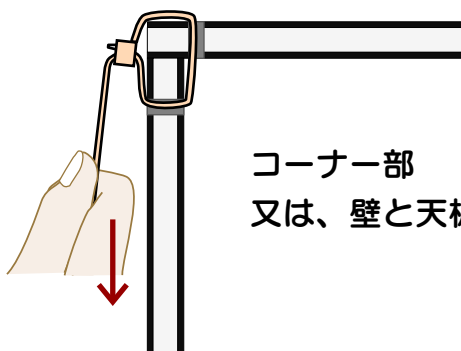
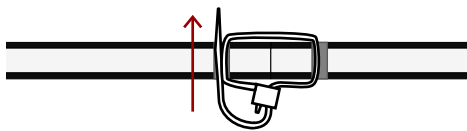
結束バンドの先を頭の穴に挿し入れます。



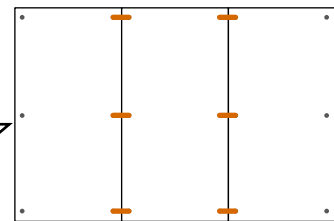
先をつかみ、しっかり引っ張ります。



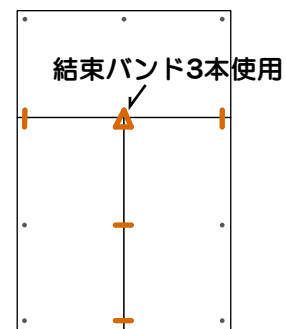
結束バンドの先をノイズクリアの穴に収めます。



● 結束位置

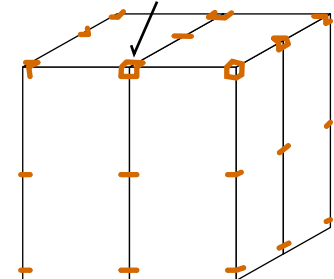


穴あけ方法については、
2ページをご参照下さい。



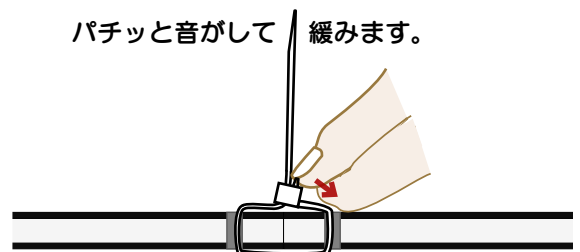
部材が3つ接する部分は、結束バンドが3本必要です。

4つ接する場合は、4本必要です。



● 結束バンドの解除方法

指先で結束バンドのツメを手前に引くと
パチッと音がして 緩みます。



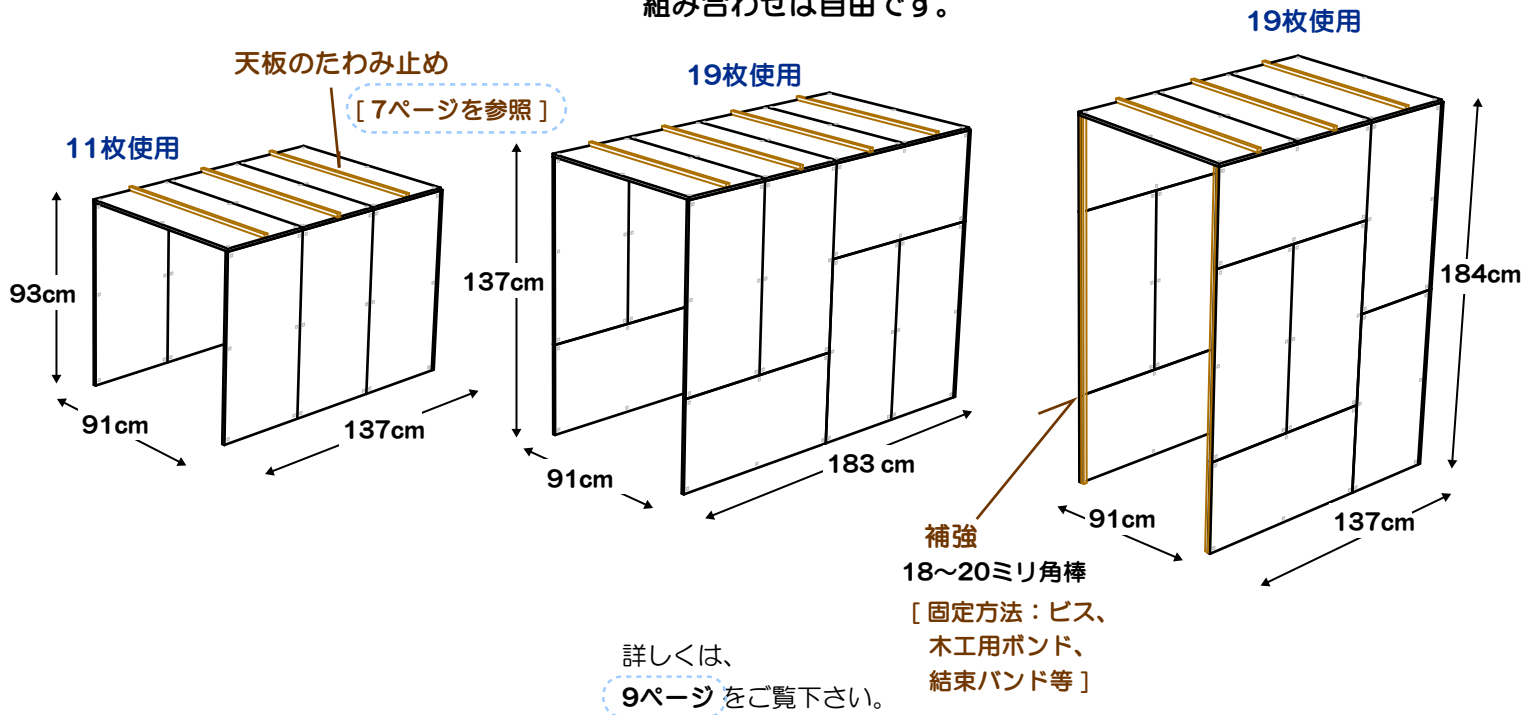
前項

目次

次項

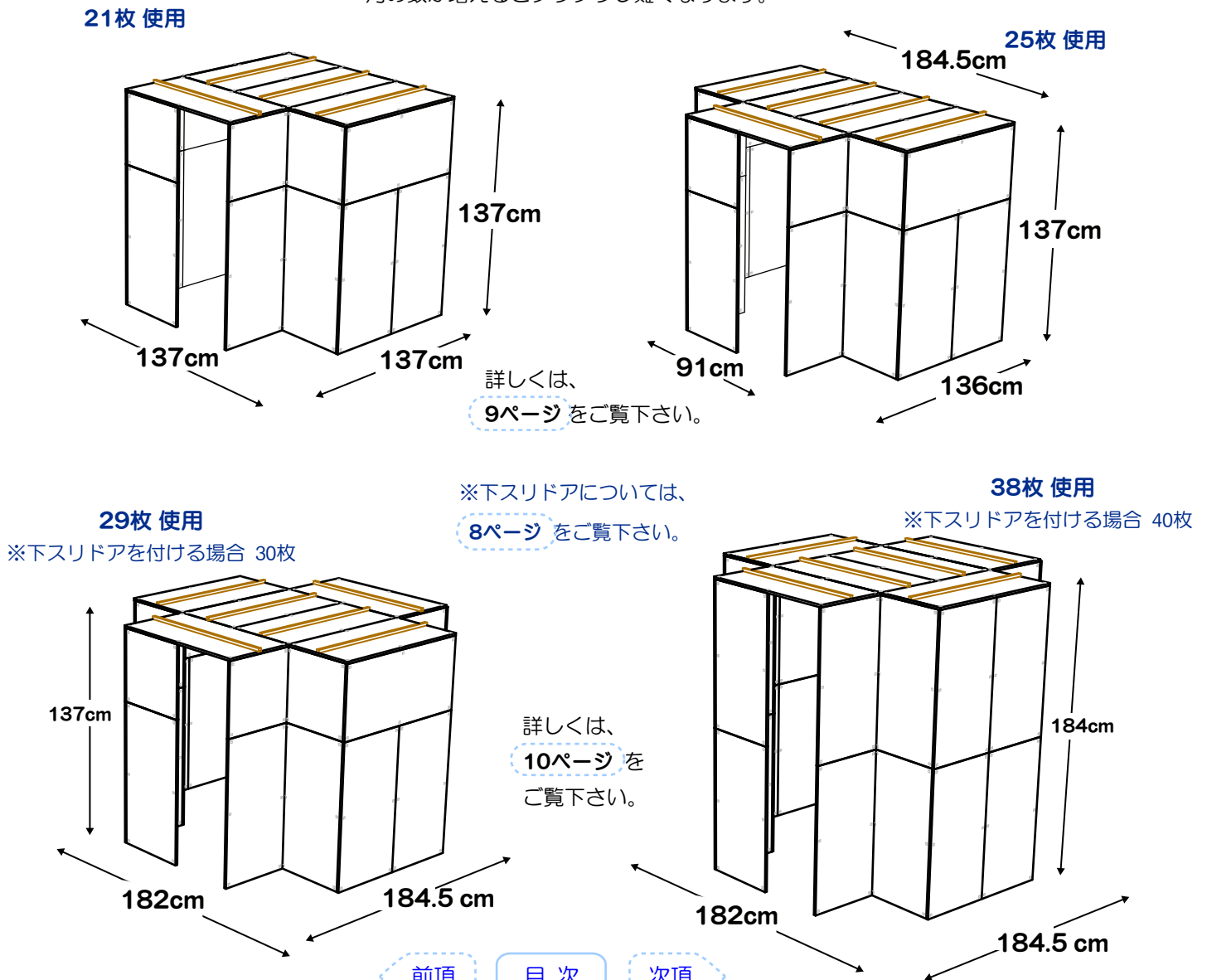
連結例

組み合わせは自由です。



角を増やして強度を増した連結例

角の数が増えるとグラグラし難くなります。



前項

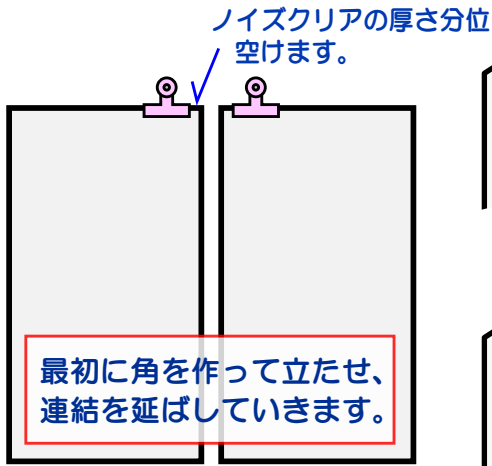
目次

次項

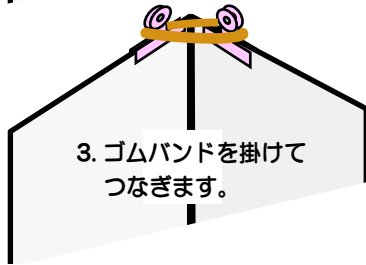
● クリップを使った仮止め

結束バンドやビスで連結する際の仮止めとして
クリップを使用します。

1. 下図のようにノイズクリアに
クリップを付けます。

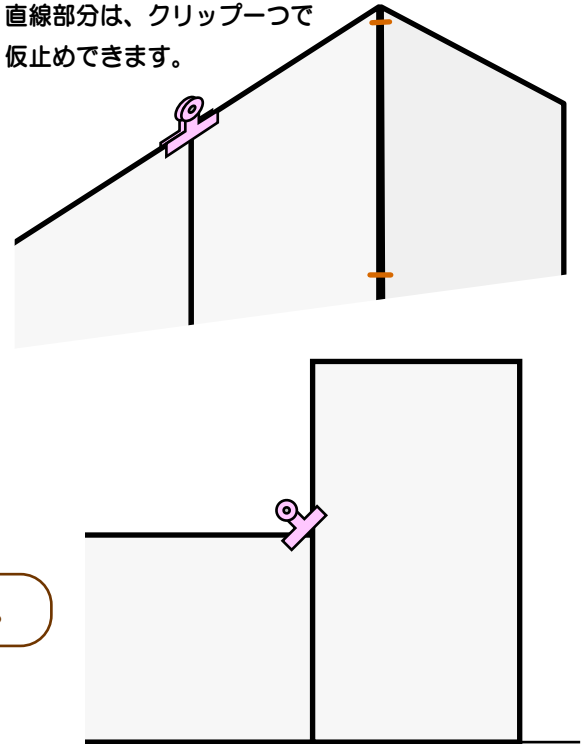


2. 互いを突き合わせます。



3. ゴムバンドを掛けて
つなぎます。

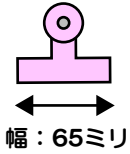
直線部分は、クリップ一つで
仮止めできます。



4. 結束バンドやビスで連結します。

推奨サイズ

目玉クリップ

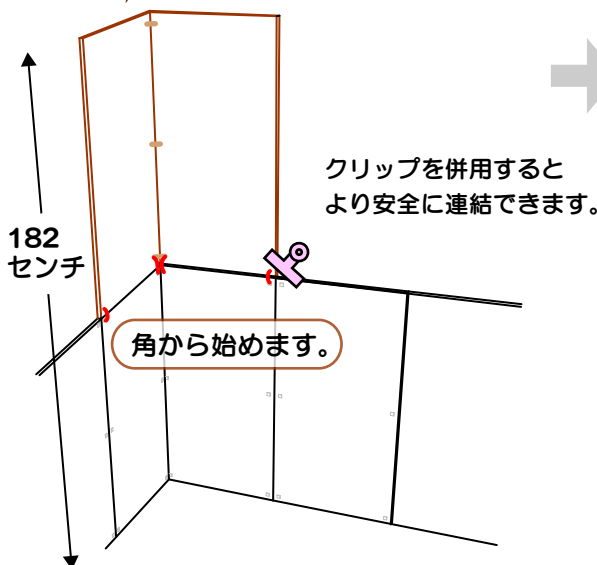


ゴムバンド

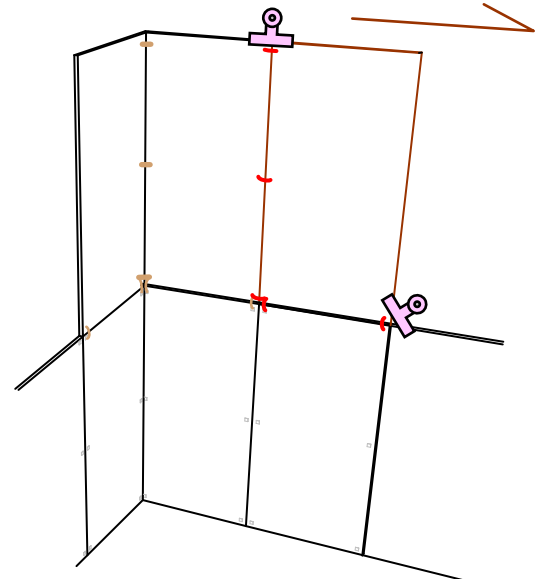


2段目の連結 [身長より高くなる場合]

角となる2枚を下でゆるめに連結してから1段目の上に乗せます。
その後でしっかり連結します。



クリップで仮止めしながら
連結していきます。

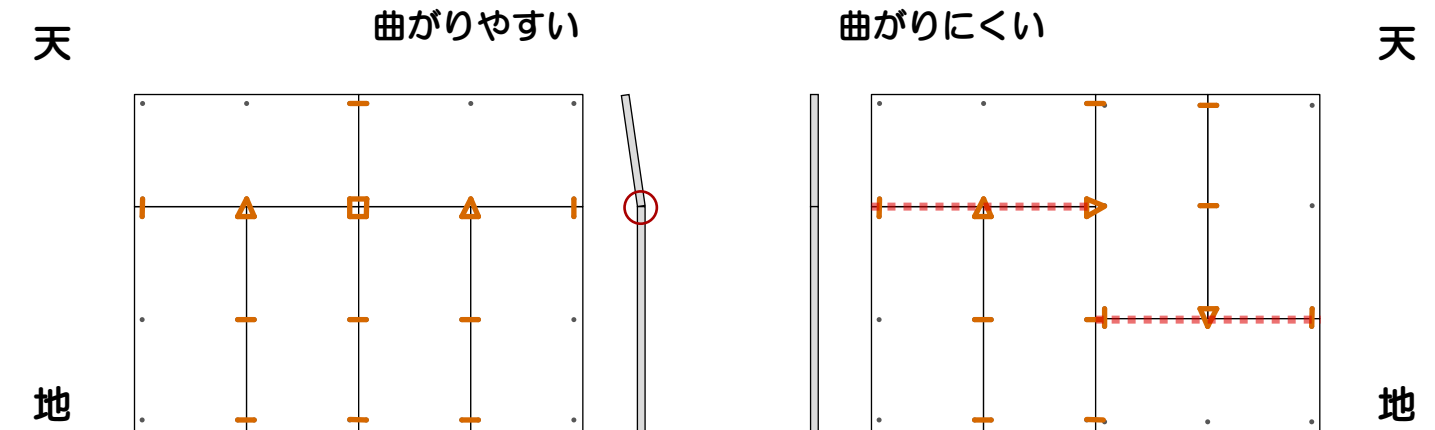


前項

目次

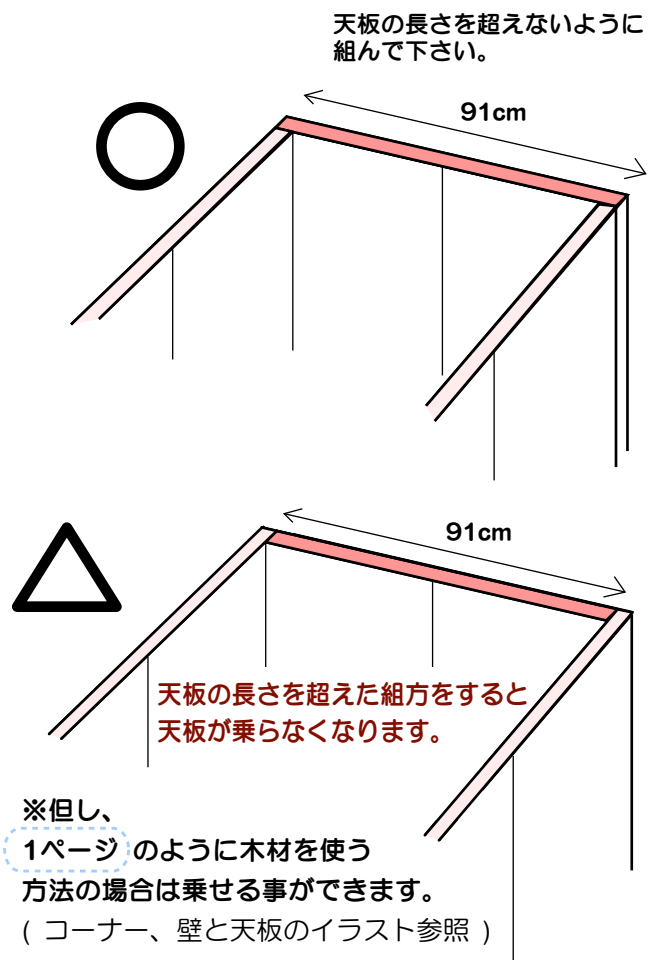
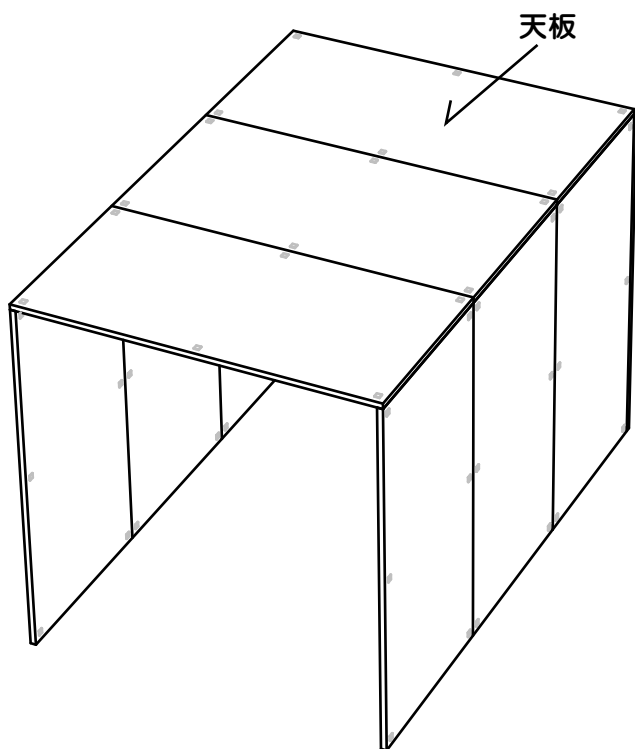
次項

● 組み方による強度の違い



水平ラインを1直線にしないようにすると
曲がりにくくなります。

● 天板を設置する場合の注意点



※但し、
1ページのように木材を使う
方法の場合は乗せる事ができます。
(コーナー、壁と天板のイラスト参照)

● 天板のたわみ止め

天板は、たわみの対策として、たわみ止めを設置する必要があります。

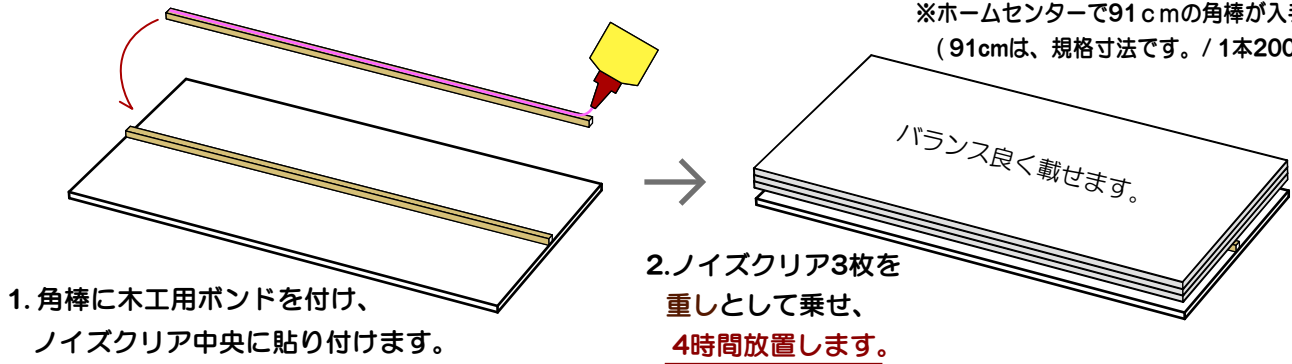
※天板に物を置かなくても自重で少しずつたわんでいきます。

用意するもの

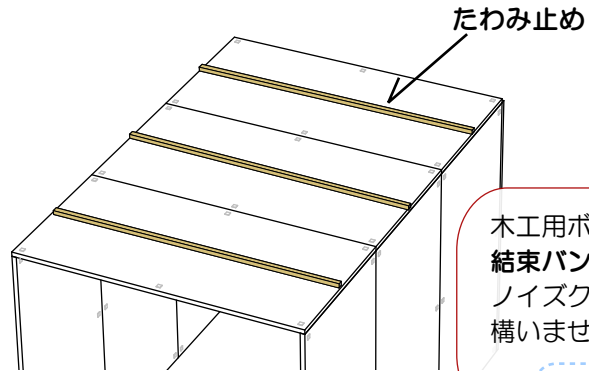
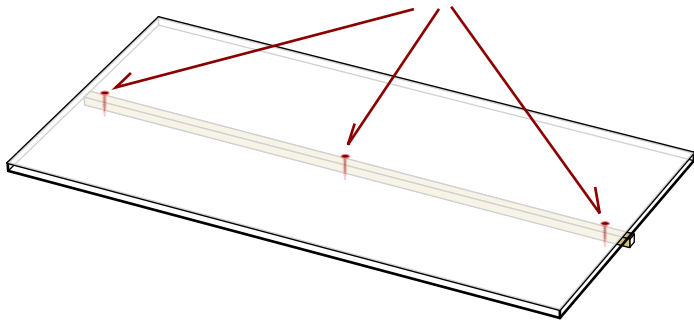
- ・ 木工用ボンド、又は、ビス
- ・ 18~20ミリ角程度の角棒：長さ91cm × 天板の枚数

※できるだけ真っ直ぐで硬い木(ラワン、ひのき)を選んで下さい。

※ホームセンターで91cmの角棒が入手できます。
(91cmは、規格寸法です。/1本200~250円程度)



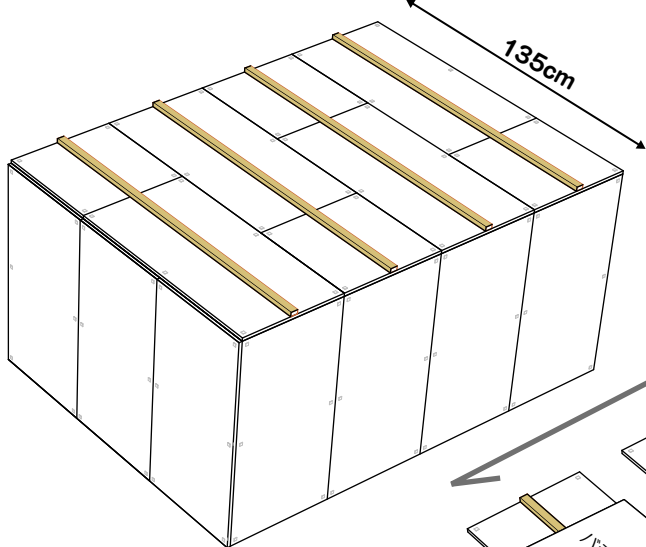
ビス留めの場合、3ヶ所留めます。



木工用ボンドを使わず、結束バンドでたわみ止めにノイズクリアに固定しても構いません。

8ページを参照

● 長さ：135cmの天板を作る場合



1. ノイズクリア1枚と半分に切ったものを繋げて作ります。

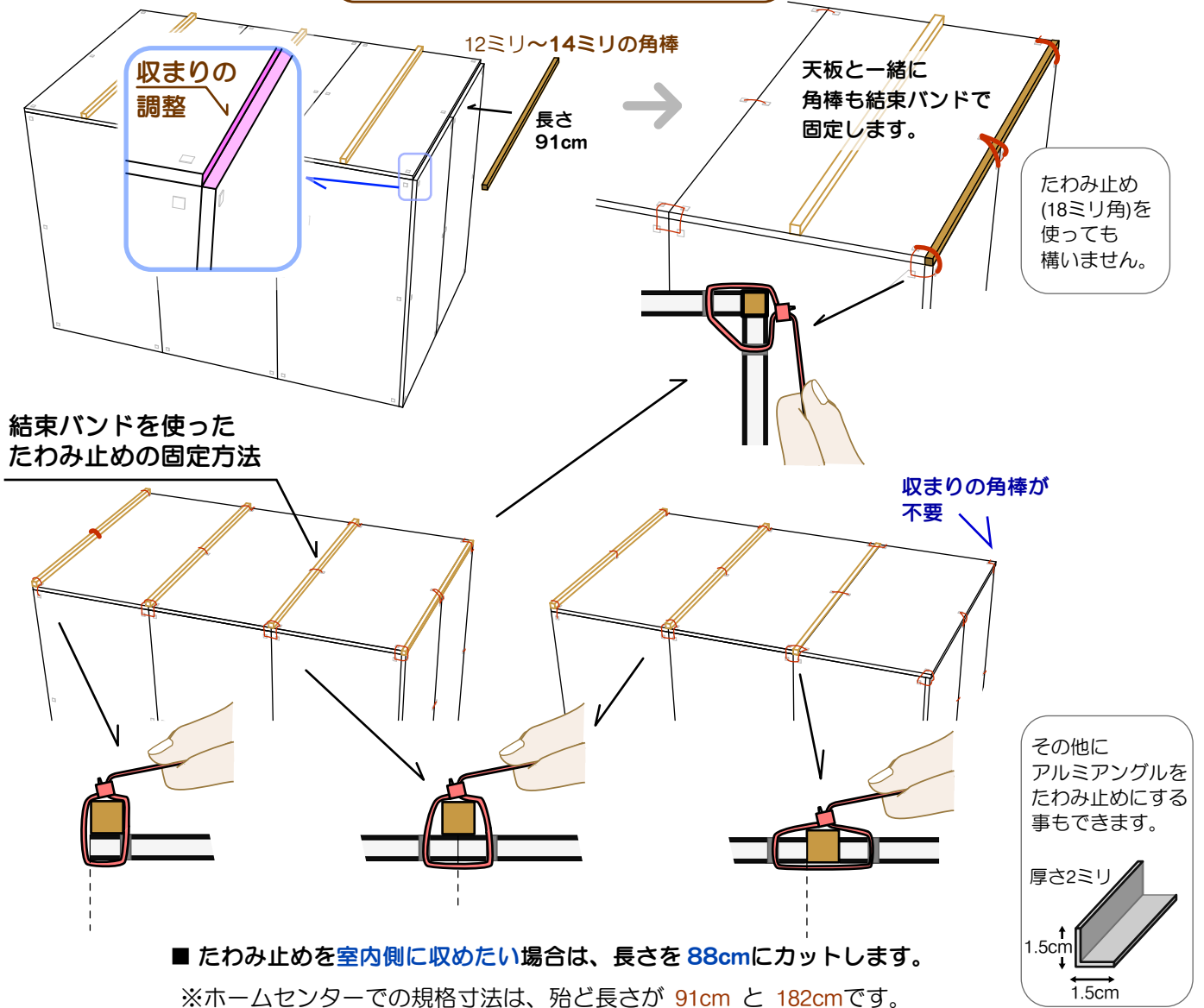
たわみ止めを逆向きにして室内側に収める場合は、角棒を少し短く切ってから貼り付けます。

2. 上記同様、木工用ボンドで接着し、6時間以上放置します。

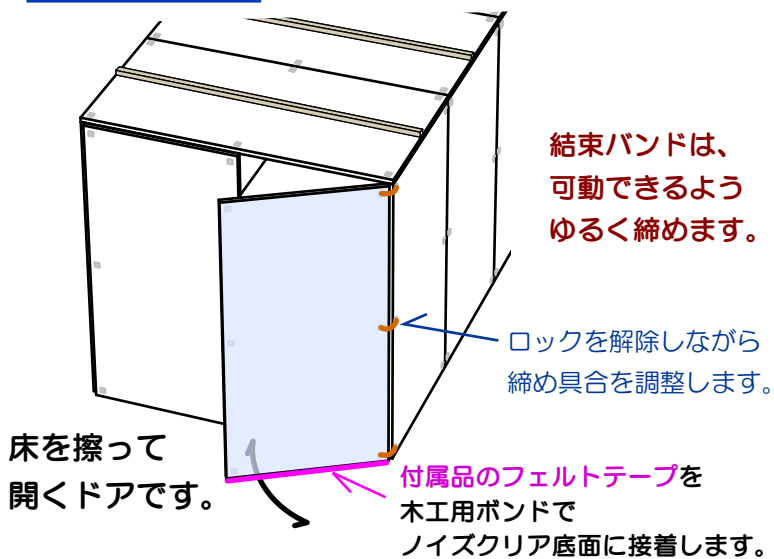
◎角棒は、30ミリ角を使用します。

13ページをご参照下さい。

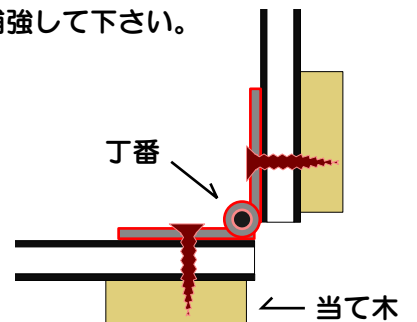
収まり調整と他のたわみ止め方法



● 下スリドア



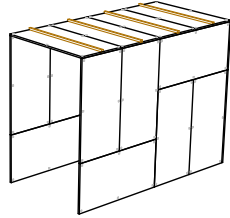
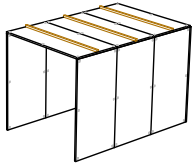
下を擦らないよう
丁番を使う場合は、
反対側に当て木をあてがって
補強して下さい。



頻繁な開閉の場合、床面が磨耗し擦り跡ができますので
フェルトテープにシリコンスプレーを吹き付け摩擦を少なくします。

※シリコンスプレーは、100円ショップで入手できます。

開口部の簡易的な防音処理としては、
厚手のカーテンや毛布を
4つ折にして天板に引っ掛けて
垂らす方法もあります。



■部材数

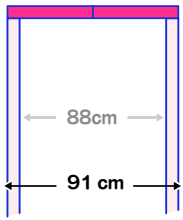
ノイズクリア：11枚
たわみ止め[18ミリ角]：3本
収まり調整[14ミリ角]：1本

■部材数

ノイズクリア：19枚
たわみ止め[18ミリ角]：4本
収まり調整[14ミリ角]：1本

構造強度：弱

天板が乗るための
組み方



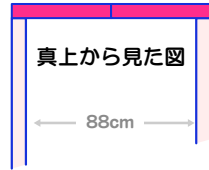
真上から見た図

天板の設置順序

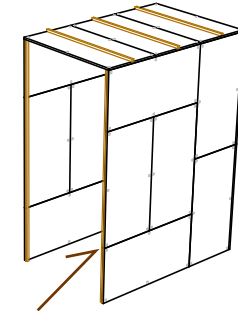


収まり調整

天板が乗るための組み方



※ 内幅は、一般住宅の廊下位です。



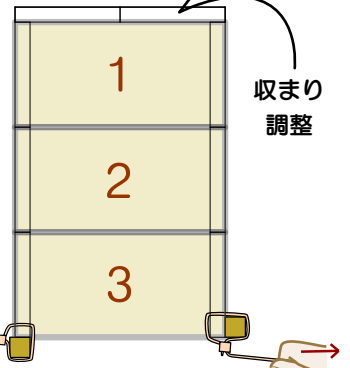
補強 18~20ミリ角棒

[固定方法：結束バンド、
ビス、木工用ボンド等]

■部材数

ノイズクリア：19枚
たわみ止め[18ミリ角]：3本
収まり調整[14ミリ角]：1本
補強 [18~20ミリ角]：2本

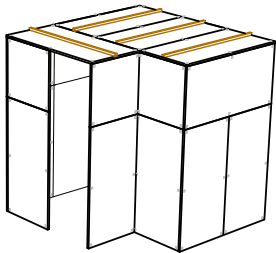
天板の設置順序



収まり調整

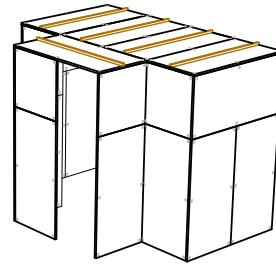
端部のどちら側に
設置しても構いません。

収まり調整
については、
8ページを
ご覧下さい。



■部材数

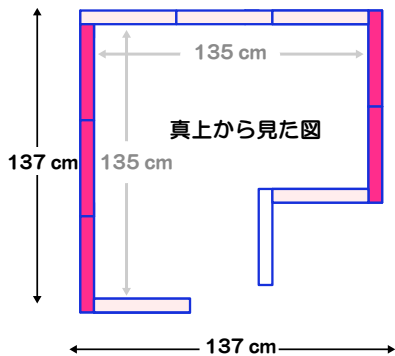
ノイズクリア：21枚
たわみ止め[18ミリ角]：4本
収まり調整[14ミリ角]：2本



■部材数

ノイズクリア：25枚
たわみ止め[18ミリ角]：5本
収まり調整[14ミリ角]：2本

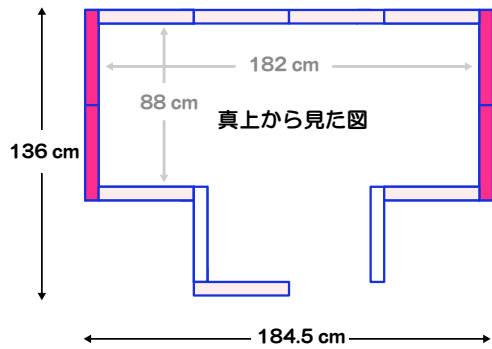
天板が乗るための組み方



真上から見た図

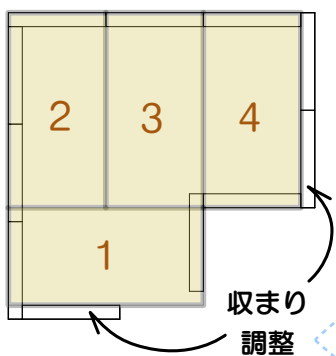
構造強度：中

天板が乗るための組み方



真上から見た図

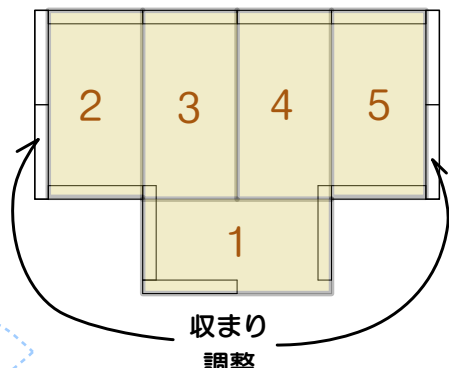
天板の設置順序



収まり調整

収まり調整
については、
8ページを
ご覧下さい。

天板の設置順序



収まり調整

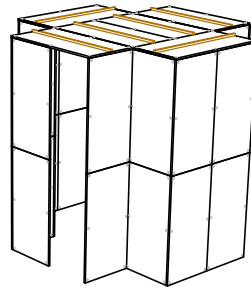
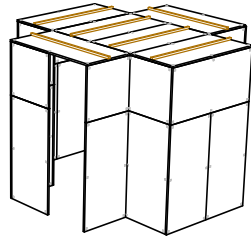
前項

目次

次項

■部材数

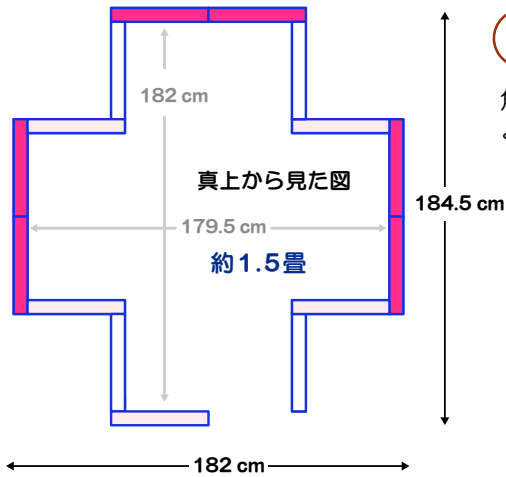
ノイズクリア：29枚
たわみ止め[18ミリ角]：6本
収まり調整[14ミリ角]：2本



■部材数

ノイズクリア：38枚
たわみ止め[18ミリ角]：6本
収まり調整[14ミリ角]：2本

天板が乗るための組み方

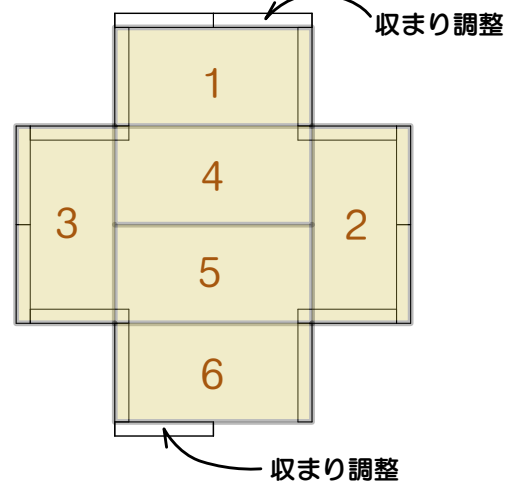


構造強度：強

角の数が增えるほど
ぐらつき難くなります。

収まり調整
については、
8ページを
ご覧下さい。

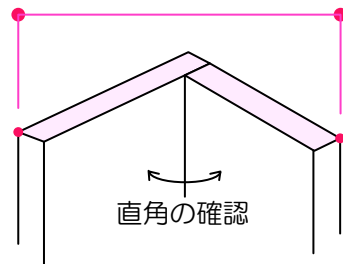
天板の設置順序



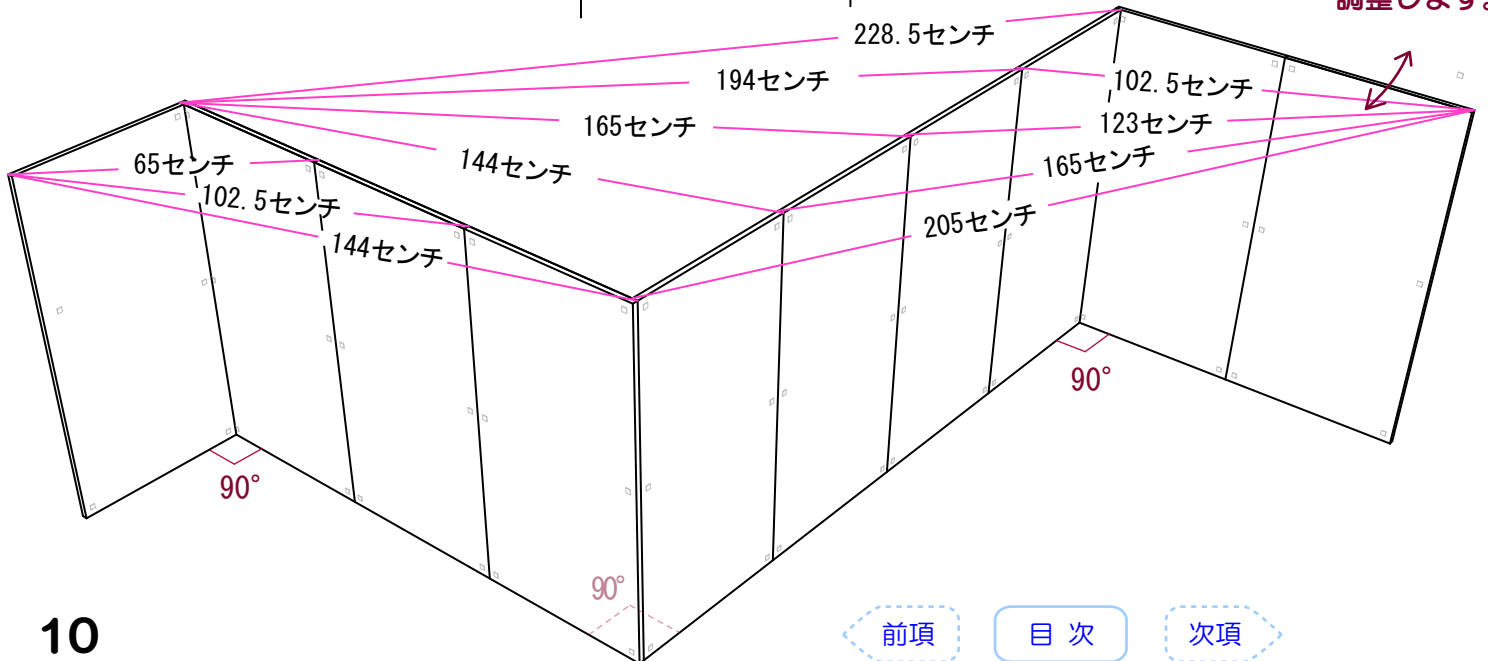
直角の確認

連結を繋げていくと少しずつ外側に開いたり、内側に狭まったりします。
そのため、1段目の連結をある程度進めたら**直角の確認**をする必要があります。

一番遠い端の長さを測ります。 ※巻尺が必要です。



ノイズクリアをずらして
調整します。



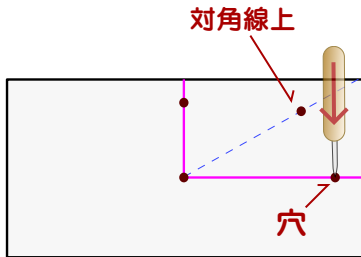
L字、くり抜きのカット方法

穴あけ前に床が傷つかないように梱包のダンボールを3重に敷いて下さい。



● L字のカット方法 [キリか千枚通しをご用意下さい。]

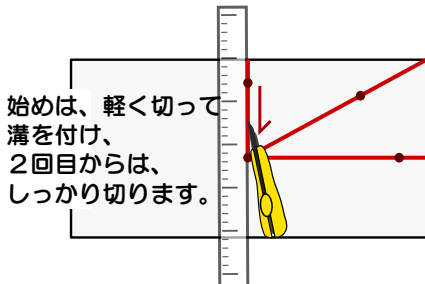
- ① カットラインが裏から分かるように
カットライン上に穴を開けます。



切り抜く形が4角形の場合、
対角線上にも穴を開けます。

千枚通しで穴を開ける場合は、針先を中心に
ぐりぐり回しながら押し開けます。

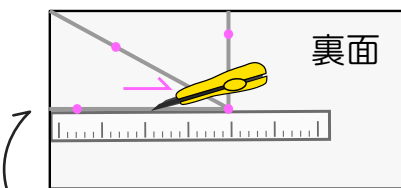
- ② カットラインを4回切ります。



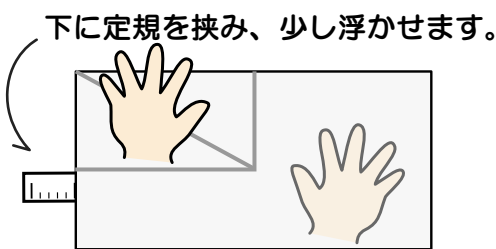
定規は、背を当てて切ったほうが
ぶれずに切れます。

裏返します。

- ③ 穴を目印に裏面も4回カットします。



下に定規を挟み、少し浮かせます。

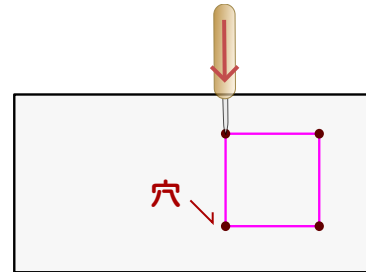


- ④ 強めに押しとカットラインに沿って折れます。

◎ 折れない場合は、
カッターで切れ溝を深くして下さい。

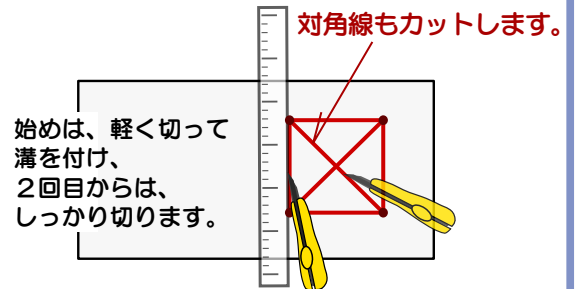
● くり抜き方法 [キリか千枚通しをご用意下さい。]

- ① カットラインが裏から分かるように
カットライン角に穴を開けます。



千枚通しで穴を開ける場合は、針先を中心に
ぐりぐり回しながら押し開けます。

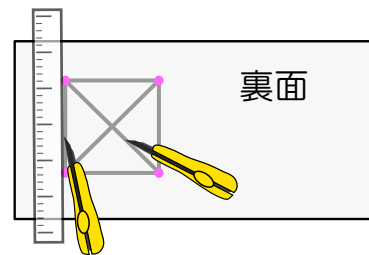
- ② カットラインを4回切ります。



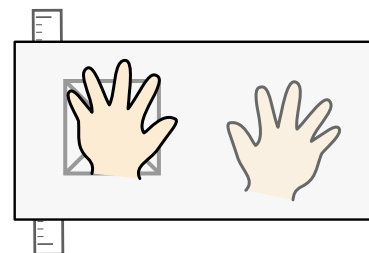
定規は、背を当てて切ったほうが
ぶれずに切れます。

裏返します。

- ③ 穴を目印に裏面も4回カットします。



下に定規を挟み、少し浮かせます。



- ④ 強めに押しとカットラインに沿って折れます。

◎ 折れない場合は、
カッターで切れ溝を深くして下さい。

◎ L字、くり抜き、いずれも対角線のラインを一番強くカットして下さい。

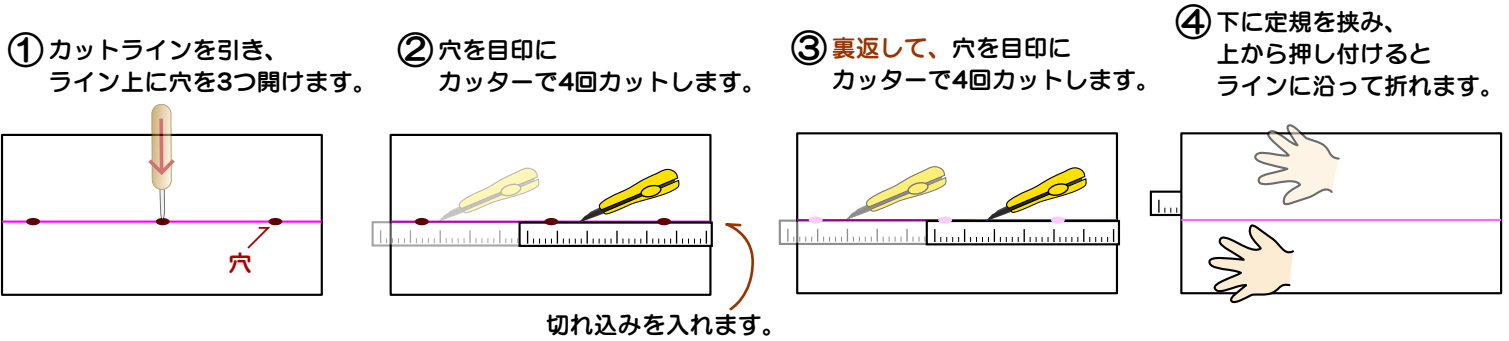
ここから折れ始めます。

長手方向のカット方法

長い距離をカットすると裏と表の切断線がずれやすいので適当な間隔で穴を開けてカットします。

長い定規がない場合
[キリか千枚通しをご用意下さい。]

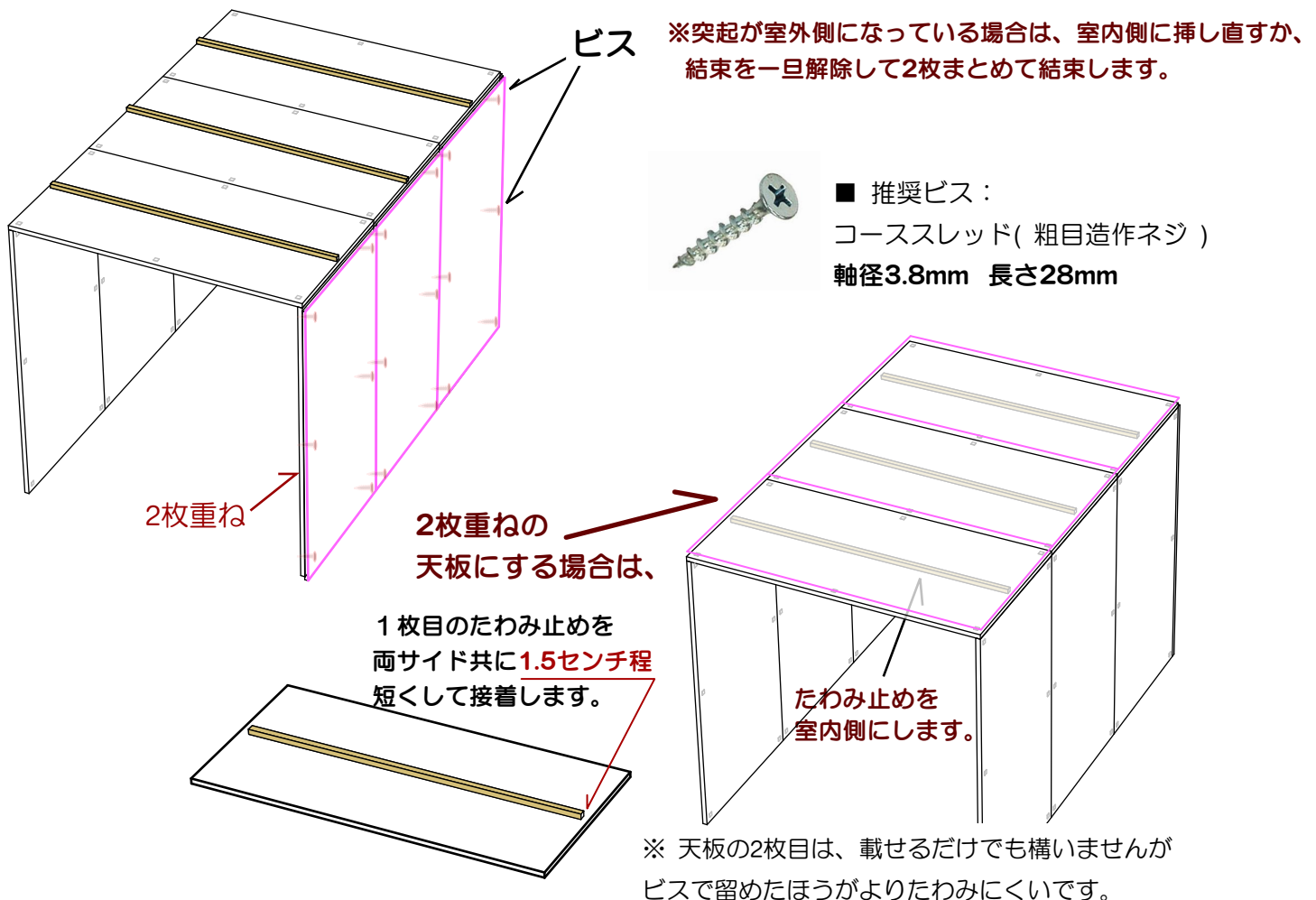
穴あけ前に床が傷つかないように
梱包のダンボールを3重に敷いて下さい。



● 2枚重ねをする場合

2枚目は外側からビスで留める方法が効率的です。

■ ただし、1枚目の結束バンドの頭 [突起]が室内側となるよう結束する必要があります。



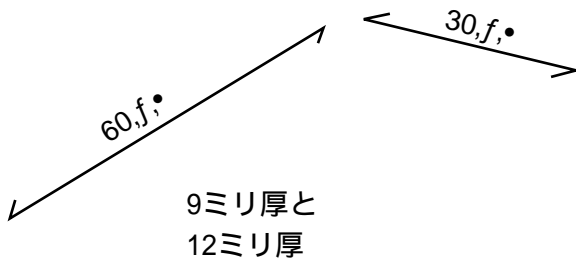
●œ ‹z%o1•p,É,Â,ç,Ä

-h%o1fXfy•[fX,ì-š•Â•«^a•ã^a,é'ö•A“à”^À%o1,^a1/2‹ç,μ-h%o1œø—l,^aá%o0,μ,Ü,•B

これを防ぐ為に吸音材を設置しますが、色々な種類の吸音材があります。
 選定の目安としては、[JIS A 6301]の吸音材料として認定されている事がポイントになります。

[JIS A 6301]認定品なら吸音性が保証されており、•Y'u,•,é-†•”や•d,É-†•”を増やしていけば
 確実に吸音性が向上していきます。

•¾ŽĐ•,,•š•i•Ff\•[f%ofgf“[f•fbfNfE•[f‹‹z%o1”Ä] JIS A 6301 / 等級 : 0.5M



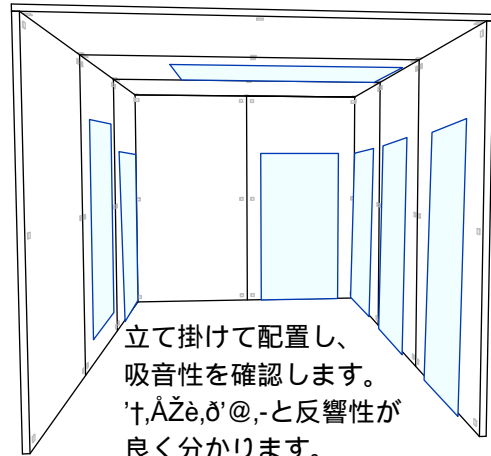
・軽量で軟質：
 指で強くつまむと
 跡が残ります。

安価で大体のホームセンターに置いてあります。
 1枚：200～300円

性能は普通ですが、価格が安い分、
 重ねて吸音性能を向上させることが容易です。

似た模様のジプトーンという製品がありますが、
 ジプトーンに吸音性はありませんのでご注意ください。

全面に貼らなくても吸音性は向上します。



立て掛けて配置し、
 吸音性を確認します。
 †,Äžè,đ@,-と反響性が
 良く分かります。

•Y'u^É'u•E-É”•E•d,É-†•”,đ•i,ì,É,a,ç
 ••S'n,ì—ç,ç•ó'Ö,đ'T,μ,Ü,•B

^É'u,œ^,Ü,Ä,½,ç-ø•H—pf{f“fh,©frfX,ÄœÄ'è,μ,Ü,•B

柄の模様が見える形で設置します。
 部分的な接着・固定で充分です。

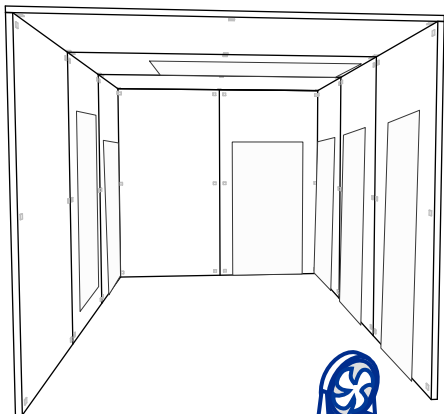
•°,Éœú,β,ìf%of}fbfç,đ•~, -,Æ‹z%o1•«^a,ç,Éœü•ã,μ,Ü,•B

‹z%o1•p,í•A‹,¾,É,æ,é^3”—š',öEyœ,¾,1,éž-,a,Ä,«^Ü,•B

反響度が高ければ、壁の存在感が大きくなり、圧迫感を感じます。
 反響度が低ければ、壁の存在感は小さくなり、圧迫感は軽減されます。

-š•Ä,É,æ,éž_œ†,É,2'^Ó%o0,¾,ç•B

-h%o1fXfy•[fX,ì-š•Â•«^a•ã^a,é'ö•A“ñž_%o»'Y'f,ì”Z“x,^a„-,É,è,ã,•-,É,è,Ü,•B



„,ì'î•ô,Æ,μ,Ä'ó:C,đ•zšÄ,¾,1,éftf@f“,đ•Y'u,μ,Ä%o0,¾,ç•B

“Á,É-†-°-Ú“l,Ä,ì-h%o1,ì•é-†•A
 •†-°†,ìž_“f”Z“x,ì'á%o0,í•A
 'ã•išèœ^,Ä,•,ì,Ä
 •K,„‹óC,„zšÄ,¾,é,é,æ,μ,É,μ,Ä%o0,¾,ç•B

f~fjftf@f“
 [USB電源 (5V)]

● 環境音について

空気清浄機の音や外部からの小さな雑音などの微弱な音は、人の脳に無意識に認識され、外界の把握、聴覚レベルの調整のために使われています。

騒音の低減が成された場合、周囲の微弱な雑音は、ほとんど聞こえなくなり、環境情報の不足による不安感により長時間滞在する事が難しくなります。

この問題の対策として、環境音を作成されることをお勧め致します。

● 具体的な対策 (弊社の実験で最も効果的だった方法)

特に睡眠時、この方法は有効です。

■ ご自宅の窓からの音を1時間程度、録音します。 [朝～昼]

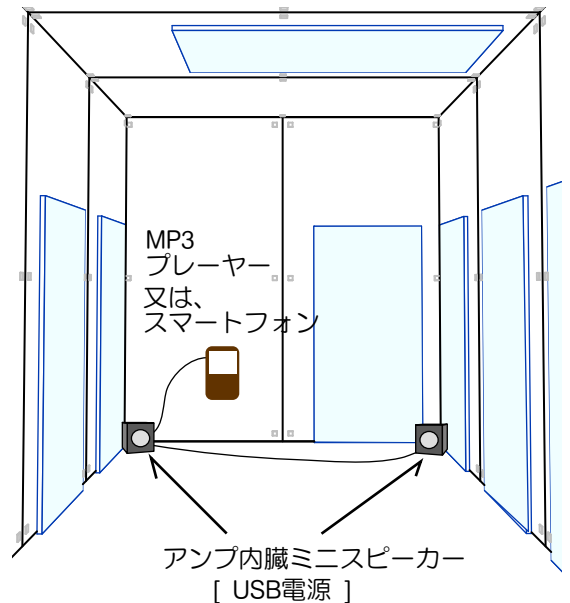
- ・ 単調な音で構いません。
また、突発的な音が入っていても構いません。

この音には、微弱な外部環境の音や様々な周波数の音が含まれています。

道路騒音などで溢れている場合は、見知った近所の公園などで録音します。

※録音された音に個人的な意味付けがあったほうが良いです。

人によっては、商店街の喧騒や電車音のほうが良い場合もあります。



- 1時間の音源からあまり刺激音(不快感)の無い部分を15分～20分切り取って保存します。

- 15分～20分音源の周波数の高音域を高め、低音域を低めにしてループ再生します。

音編集ソフトを扱える場合は、高周波数帯をプラス、低周波数帯をマイナスにイコライズして保存します。

- スピーカーの位置や方向を変え、全体に音が広がるようにします。

- ボリュームを調整して「うるさいと感じない」レベルで流し続けます。

いろいろな音で試される事をお勧めします。
例えば、町工場の機械音、水路の水の音など。



価格：1,000円～1,500円程度

前項

目次